有田焼 おしゃれバックハンガー のご提案

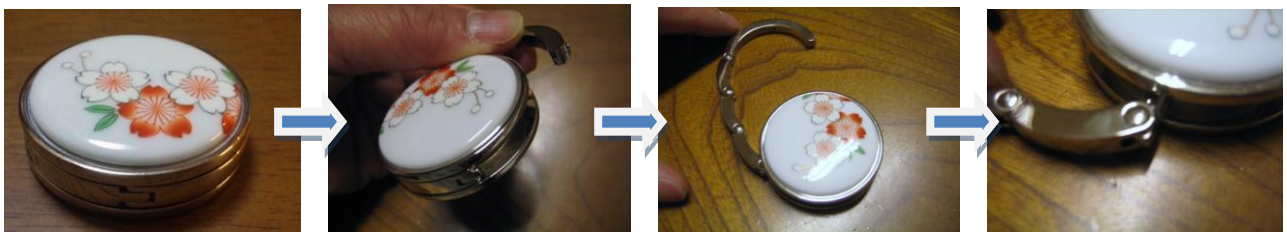
日本磁器発祥の地である有田の磁器は 17 世紀後半、オランダ連合東インド会社により、遠くヨーロッパまで輸出され、多くの王侯貴族を魅了し、マイセンをはじめとするヨーロッパの磁器文化に多大な影響を与えました。今なお人の心を魅きつける有田の匠の技・伝統美を追求し、新たに「有田焼おしゃれバックハンガー」を開発致しました。高級感漂う香蘭社製の磁器が表についたキャタピラー収納タイプのバックハンガーをご提案いたします。

ＡＲＩＴＡ　ＴＡＫＵＭＩ
有田焼おしゃれバックハンガー
NP03－SAK　桜花絵　丸
サイズ　　45 ㎜Φ×15H　　(77g)
金属部　亜鉛合金　クロームメッキ光沢
販売価格　６，０００円（税別）

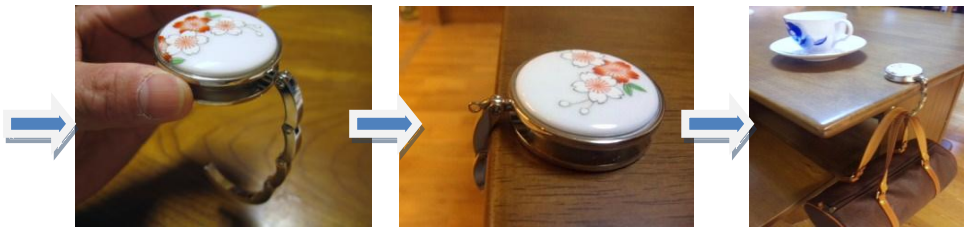
ＡＲＩＴＡＴＡＫＵＭＩ
有田焼おしゃれバックハンガー
NP03－RBU　るり金葡萄絵　丸
サイズ　45 ㎜Φ×15　H　(77g)
金属部　亜鉛合金　クロームメッキ光沢
販売価格　６，５００円（税別）

専用外箱　色（黒）　107×90×46H
専用ケース匠オリジナル　色　(黒)　100×80×38H
専用巾着　匠オリジナル　色　(黒)　72×90
しおり取扱説明書　匠オリジナル色　(黒)　78×96
しおり香蘭社説明　匠オリジナル色（白）　78×96

バックハンガーの使い方



①まずフックをはずし、ひっぱり出します。　②ジョイント部分を引っ張ります。



③　90 度回転させ、テーブルにひっかけます。　④フックにバックをつりさげて完成です。

（使用イメージ）

耐荷重は、約 5 kgです。
書類の多いビジネスシーンや、荷物が多くなりがちな方にも大丈夫です。

添付のチェーンが付属しています。
バックに取り付けることも可能となります。
取り外し式のため、お気に入りのチェーンやキーホルダーと取り替えることが可能です。

取り付けイメージ

＜香蘭社概要＞

今からおよそ三百年前、江戸文化が華麗に花開いた元禄の頃、初代 深川栄左ヱ門が肥前有田で『香蘭社』の前身となる磁器の製造を始めました。そして日本に近代化をもたらした明治維新の激動期、有田焼は佐賀鍋島藩の一切の保護と支援を失いました。

その再興に指導的役割を果たしたのが、八代 深川栄左ヱ門でした。強い自立の精神が、当時の選りすぐりの陶工や絵付師、それに陶商達を一つにまとめ結社を作りました。これが『香蘭社』です。時に明治八年。その後、相次いで世界各国で行われた万国博で数々の名誉金牌を受賞。海外でもその評価を高めるとともに、明治二十九年には宮内省御用達の栄にも浴し今日に及んでいます。

『香蘭社』の製品は、有田磁器独特の白く硬い透明な生地の上に、優雅な染付と華麗な赤絵を配した典雅な文様、十八世紀フランスのセーブルを中心に、ヨーロッパで愛好された金銀彩のルリ釉もの、さらに目にやさしく心がなごむグリーンシリーズ製品など多彩を極めています。

『香蘭社』の製品は、すべて伝統を誇る有田色絵磁器の多様な文様を集大成し、有田の伝統様式を一歩前進させたとして評価され、世に「香蘭社スタイル」とも「香蘭社調」とも呼ばれ、広く親しまれています。

今回、弊社企画にもとづき、有田の ㈱ 匠 と㈱香蘭社のコラボにて開発しました有田焼おしゃれケースをぜひ、ご検討いただきたくお願い申し上げます。

磁器部 製造： 株式会社 香蘭社（こうらんしゃ）
総合製造元 ： 株式会社 匠 （たくみ）
発 売 元 ： 株式会社 知的所有権研究所